

平成20年5月19日
京阪電気鉄道株式会社

「中之島駅」駅前にホテル、オフィスなどの複合高層ビルを建設

「京阪・大林 中之島共同開発」計画を進めます

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪市中央区、社長：上田成之助）では、株式会社大林組（本店：大阪市中央区、社長：白石達）と共同で、中之島4丁目地区の「京阪・大林 中之島共同開発」計画について検討を進めています。

今回の計画は、両社が同地区に保有する社有地、約5,480㎡に、ホテル、オフィス、商業店舗で構成する複合高層ビルを建設するもので、平成24年度の開業をめざします。

建設予定地は、今秋開業予定の中之島線の終着駅となる「中之島駅」の駅前にあたり、島内においても今後特に発展が期待されるエリアです。同ビルは、この駅前立地の利点を生かし、「中之島駅」から地下通路で直結することで、ターミナルビルとしての機能も兼ね備えることになります。

また、現在、近隣の中之島2・3丁目地区では、関電・ダイビル共同開発や、朝日新聞社グループの超高層ツインビル開発が進行しているほか、対岸に位置する福島1丁目地区では、朝日放送新社屋などが入居する「ほたるまち」が、今月2日に街びらきを行うなど、周辺開発も進んでいます。今回の計画推進により新都心としての連続性がさらに高まり、相乗効果が期待できます。

なお、計画地周辺は、「国際センターゾーン」、「文化センターゾーン」と位置づけられていることから、誘致するホテルについては、国際的に評価されている外資系ホテルを中心に検討を進めています。さらに、商業店舗や先行して進めている超高層マンション「N4・TOWER」などにより、賑わいのある街づくりを行います。

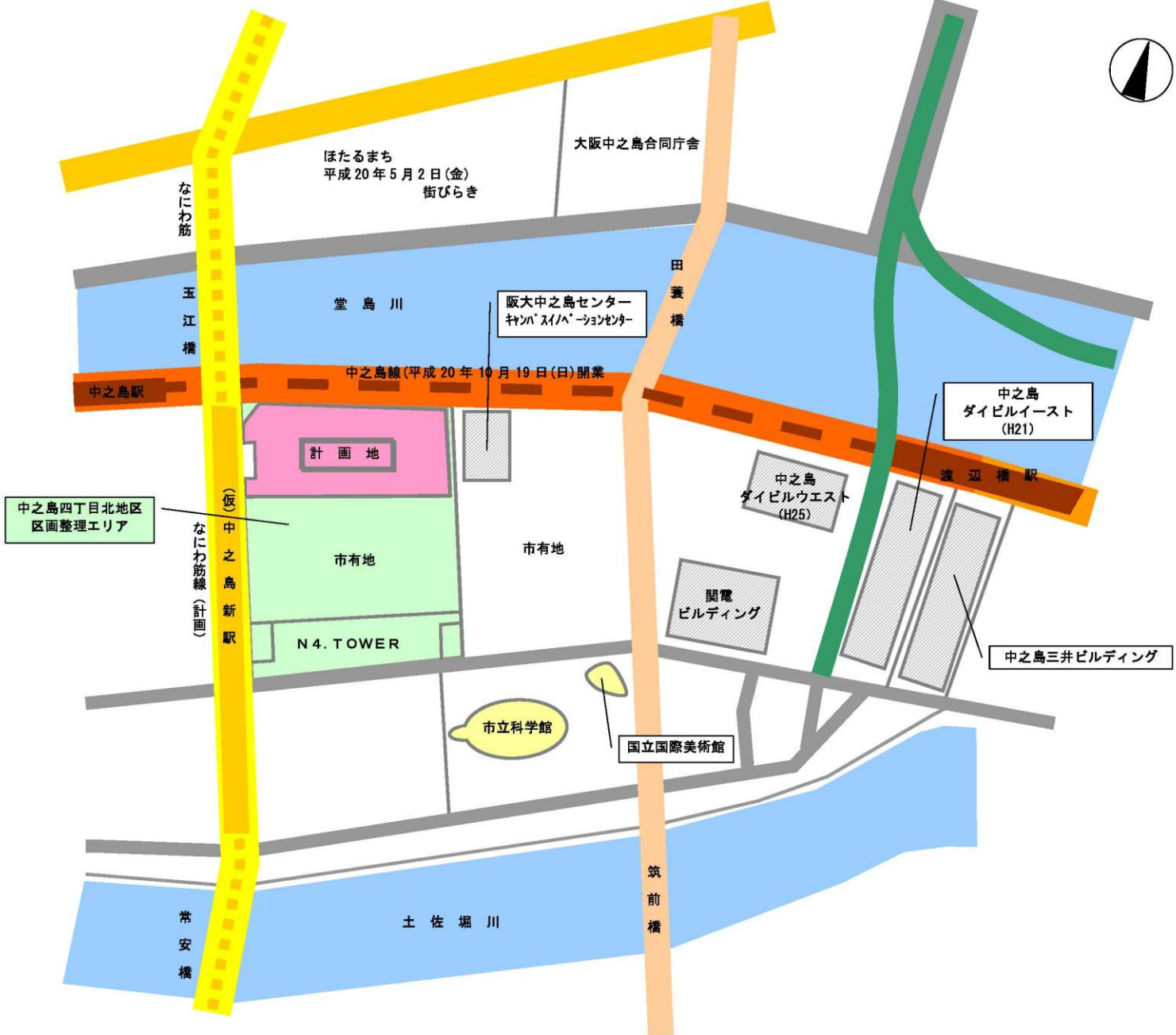
今回の計画地は都市再生緊急整備地域に指定されていることから、建物のボリュームやビルの高さなどについては今後大阪市など関係機関と協議を行い、決定する予定です。

現在想定している「京阪・大林 中之島共同開発」計画の概要は、別紙のとおりです。

(別紙)

1. 名称 京阪・大林 中之島共同開発
2. 所在地 大阪市北区中之島4丁目51番
3. 開発地面積 5,480㎡(1,658坪)
4. 施設構成 ホテル：中之島の国際性・文化性を表象するラグジュアリーホテルを誘致します。
ビジネスシーンで活躍するエグゼクティブや、文化施設を訪れたゲストに、高品質なサービスとホスピタリティを提供する最高級ホテルを想定。エリアが「国際センターゾーン」「文化センターゾーン」に設定されていることから国際的に評価されている外資系ホテルを中心に検討。
オフィス：中之島エリアの中核業務機能の中核を担うオフィスを誘致します。
商業店舗：新駅前にはふさわしい、ゆとりと賑わい空間を演出する商業店舗を集積します。
中之島遊歩道を散策中に気軽に立ち寄れるカフェや、大人が楽しみくつろぐことができるレストランなどで形成。
5. 開業予定 平成24年度
6. その他 水辺環境に配慮したまちの顔となる外観デザインとするほか、中之島駅や中之島遊歩道などとの接続動線を整備し、快適で回遊性の高い歩行者ネットワークを創出します。

以上



ほたるまち
平成20年5月2日(金)
街びらき

大阪中之島合同庁舎

なにわ筋

玉江橋

堂島川

阪大中之島センター
キャンパスイノベーションセンター

田養橋

中之島駅

中之島線(平成20年10月19日(日)開業)

中之島
ダイビルイースト
(H21)

中之島四丁目北地区
区画整理エリア

計画地

中之島
ダイビルウエスト
(H25)

波辺橋駅

(仮)中之島新駅
なにわ筋線(計画)

市有地

市有地

関西
ビルディング

中之島三井ビルディング

N4.TOWER

市立科学館

国立国際美術館

常安橋

土佐堀川

筑前橋